

アークフラッシュされた全国48箇所の老人施設は9年間インフルエンザの発症が報告されておられません。

< * > <http://www.arc-flash.co.jp> アークフラッシュ NEWS をダウンロードによりご覧頂けます

日本さい帯血バンクネットワークは1日、東海大学病院(神奈川県伊勢原市)が保存していたさい帯血を紛失し、患者への移植手術ができなくなったと発表した。赤ちゃんのへその緒などに含まれるさい帯血は、白血病患者への移植治療などに使われる。同ネットワークは、この患者に適合するほかのさい帯血を探している。ネットワークによると、8月下旬、移植に使われることが決まったさい帯血を、病院側が搬送しようとして保存タンクから取り出したところ、さい帯血のバッグが入った金属ケースの中身がなかったことが判明した。さい帯血は縦横約10センチ、高さ約1センチのケースごと液体窒素で満たされたタンクに置かれており、同病院には約5000個が保存されているという

先日、母校である東海大学にネットワーク危機管理の話で出向いたが、責任担当者はまるで他人事のように聞く耳持たずの現状からして、東海大学の本質は既に危機管理能力はゼロに近いと言ってよいだろう。

中国の天候は9月に入ってから寒くなりはじめ、小中学校が新学期を迎えるに従って、新型インフルエンザの集団感染が相次いで発生している。これを受け、中国各地の衛生機関は新型インフルエンザの緊急対応策を強化し、その予防と治療に取り組んでいる。このところ、北京市は新中国成立60周年祝賀イベントのリハーサルを、新型インフルエンザの感染拡大を懸念し早急に行っているほか、北京市疾病制御センターは、祝賀イベントに備えて新型インフルエンザの感染拡大を防ぐ緊急対応策を決定し、集団感染が発生した場合の対応策を整えている。国慶節のパレード、集団活動などに参加するスタッフはこれから、毎日朝と昼の二回に体温検査を受けなければならないという。リハーサルは原則として室外で行われるほか、仮に感染が起こった場合、患者と接触者は直ちに隔離治療を受けることになっている。中国では国産の新型インフルエンザのワクチンが2種類販売されており、中国衛生部はまもなく実施される新型インフルエンザのワクチン接種規定に基づき、感染しやすい人たちを対象にワクチンの接種を実施すると明らかにしている

香港とマカオの医療衛生部門が明らかにしたところによると、9月4日までに香港とマカオでは新型インフルエンザ(H1N1型)の感染患者数がそれぞれ1万3318人と1129人に達したことが分かった。香港では4日午後2時半までの24時間以内に、370人の新感染者が確認されたほか、これまでの5日間に6人の死亡者が出ている。マカオでは、

3日から4日昼までの新規感染者数は51人となり、これまでの感染者数は1129人となった

インド保健・家族福祉省は3日、インド国内で新たに166人の新型インフルエンザ感染が確認されたと発表した。この116人の内訳は、43人がマハラシュトラ州、32人がデリー、32人がタミルナド州、19人がカルナタカ州、15人がアンドラプラデシュ州など。

3日現在、インドでの累計感染確認は4,364人に達した。1,738人がマハラシュトラ州、707人がデリー、513人がカルナタカ州、439人がタミル・ナドゥ州など。累計死者確認数は111人に達した。死者の地域別内訳は、マハラシュトラ州で58人、カルナタカ州で31人、グジャラート州で9人、デリーで3人、タミルナド州で3人など

新型インフルエンザが強毒化し、多くの患者が発生することを想定した訓練(県中部保健所など主催)が6日、由布市湯布院町の体育館であり、地元の医師・看護師や行政関係者など約200人が参加した。訓練は、強毒化した新型インフルエンザが猛威を振るい、発熱外来を設置したという想定。問診から診療、会計、投薬まで設置した本格的なもので、1時間に約30人が模擬診察を受けた。看護師が屋外で問診と検温した後、医師が重症者に点滴を指示したり、「水分を十分にとって安静にしてください」と声をかけたりして対応した。防護服を着た救急隊員も参加。救急車で患者を運んだり、別の医療機関に転送するなど、慌ただしく行き来した。訓練に先立ち、県健康対策課の藤内修二課長が講演し、県内でも患者が増加している現状を報告し「インフルエンザにかかったと思ったら、慌てずに、医療機関に電話してから受診を」と呼び掛けた

光触媒マスク販売のお知らせ

アークフラッシュ加工されたマスクが少量在庫があります。

3枚が1袋に入っております。(使い捨て用です)

1袋¥75で販売いたします。(送料別)

現在2500袋の在庫が有りますので、先着順で販売いたします。

sasagawa@igd.info までお知らせください。

*** 発行責任者: 株式会社アークフラッシュ本部**
笹川 透

03-5337-8860 FAX 5337-7465 sasagawa@arc-flash.co.jp

過去のアークフラッシュ NEWS はホームページよりご覧になれます。